

～平成29年度～

皆さまからいただいたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。

■ 教育振興事業



(購入した新刊図書コーナー)



(朝読書の風景)

豊後大野市教育委員会では、豊かな心を育むことを目的として読書活動を推進しています。毎年、ふるさと応援基金を活用して、市内全小・中学校に新刊図書を購入し、児童・生徒に楽しんでもらいました。

図書の種類についても、小学校においては、低学年から高学年まで楽しめるような様々なジャンルや年代別に計画的に購入しました。中学校においても同様に、ジャンルを問わず、生徒が興味を引くような図書の選定を行い、多くの生徒に喜んでいただきました。



(タブレットを活用した授業風景)

国が推進する「IT立国」や「教育改革」といった政策のもと、ICT活用の有効性に着目して、本市においても小学校及び中学校にタブレットの導入を行い、授業で活用しています。

タブレットを授業に活用することによって、従来の「先生が板書して生徒に教える」といった、ある意味一方通行であったスタイルから「先生と生徒の双方向のやりとり」や「生徒同士のグループディスカッションやプレゼンテーション」など、生徒の主体性や協働性を育もうという学習スタイルに変革することができました。

今後もタブレット等ICT機器を活用して、「アクティブラーニング」といった協同的な学びを通して議論を展開し、知識を身に付けていく学習形態を推進していきます。

子ども・子育て支援総務事業



<豊後大野市子育て応援Webサイト・アプリ構築等業務>

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、妊娠・出産・子育て支援に関する情報や子育て関連イベント情報等を、「分かりやすく」「探しやすい」メニュー構造で、Webサイト及びアプリを構築しました。

子育て関連の情報取得の利便性を高めるとともに、乳幼児や妊婦健診の受け忘れや予防接種の接種忘れを防止するためのプッシュ通知機能などにより、子育てに関する支援環境の充実及び母子の健康保持を図ることができました。

■ ブックスタート支援事業



<出産祝品（ブックスタートパック）購入>

親子のきずなづくりを目的に、出産祝品として絵本等が入ったブックスタートパックを保護者に贈呈しました。

購入数：2,000円相当×150セット(4冊)

■ エコパーク推進事業



平成29年6月に祖母・傾・大崩山系を中心とした地域が、エコパークに登録されました。自然と人間との共生する社会の構築を目指しており、環境保全や人材育成に関する事業を推進しています。

平成29年度は、12月2日に、民俗芸能の継承と交流を目的に子ども神楽大会を実施しました。市内にある8団体すべての子ども神楽の団体が参加し、交流を通じ日々練習した成果を披露しました。



8月11日の山の日には、市内外の家族を対象とした自然体験イベントを開催しました。祖母山麓の川上溪谷を散策し、植物や鳥を観察しながら、この地域にはなぜ豊かな自然が多く残されているのかについて、参加者で考えました。また、森が持つ保水機能など、私たちが自然から受ける恵みについて学び体感しました。

■ 郷土の先輩特別事業



7月11～12日、市内中学校4校（三重、犬飼、千歳及び清川中学校）において、三重町出身の落語家、春風亭三朝さんによる講演及び高座が行われました。普段あまり見ることのできない落語に絶え間ない笑いがおきつつも、生徒は独特の世界観に引き込まれていました。また、三重町出身で現在外務省ハーフ条約室に勤務している林穂高さんが、12月18～19日、大野中学校及び緒方中学校において、「20年前の自分に教えてあげたいこと3つ」と題し講演していただきました。ふるさとで過ごした当時の様子や現在の仕事（職業）を選んだきっかけなどについてお話いただき、生徒は熱心に耳を傾けていました。

■ 子ども文化・芸能大会事業



毎年市内の子どもたちに郷土芸能を伝承していくための発表の場を提供していますが、今回は11月12日に開催された第7回ふるさとまつりにおいて、菅尾石仏子供太鼓及び清川子ども神楽保存会のみなさんが日頃の練習の成果を披露しました。観覧した来場者は子どもたちの勇壮な太鼓や舞に酔いしれていました。

■ 成人式事業



平成30年豊後大野市成人式を1月7日にエイトピアおおの大ホールで開催しました。本市の新成人は397人で、うち263人が出席しました。式典では、成人式実行委員長のあいさつに続き、新成人代表が誓いのことばを述べました。式典終了後には、中学校3年生時の担任からのビデオレターの上映が行われ、懐かしい先生方からの温かいメッセージに会場内は盛り上がりました。

■ 青少年健全育成大会事業



(ことばの森フェスタ 表彰)



(犬江こども組)

＜平成29年度 豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい＞
豊後大野市青少年健全育成市民会議と市教育委員会、及び市PTA連合会では、子どもたちの健やかな成長を願って、学校・家庭・地域のそれぞれが連携して青少年健全育成活動をすすめることを目的に毎年このつどいを開催しています。

今回は「犬江こども組」の皆さんの迫力ある太鼓演奏に参加者一同感動。市内の子どもたちの俳句や家族川柳など「ことば」に関する作品の披露・表彰を行う「ことばの森フェスタ」には、2,000点を超える作品が出品されました。最後に、西九州大学非常勤講師で臨床心理士の吉村春生さんをお招きして、子どもたちをはじめ私たちの心理について、わかりやすく教えていただきました。子どもたちを見守ること、存在自体を大切にすること、地域全体での声かけやあいさつが大切であることなど多くのことを学ばせていただきました。

(参加者約250人)

■ 図書館図書購入事業



豊後大野市図書館では、小説から歴史、社会、科学、技術、芸術、スポーツなど各分野の図書を定期的に購入し、市民の方からのリクエストにもお答えしています。

移動図書館では、保育園・こども園・幼稚園・小学校25カ所に、約3,000冊の本を積んで巡回し、貸出を行っています。子どもたちの大好きな虫や動物、恐竜、乗り物など趣味の本や、楽しんで読める読み物、学習に役立つ本も購入し、市内の子どもたちの読書支援、学習支援を行いました。

一般書、児童書、ティーンズ対象の本、また、大活字本やCDブック、LLブックやビッグブックなど、特殊な形態の資料も収集し、様々な目的に対応できるように活用しています。